

くるみ保育園 自己評価表

令和4年度

A・・・たいへんよい B・・・よい C・・・一部検討を要する D・・・改善を要する

	視点	A	B	C	D	記入なし
I 保育理念	子どもの最善の利益の考慮	37	37	1	0	
II 子どもの発達 援助	1 子どもの福祉を増進することに 最もふさわしい生活の場	29	32	0	0	
	2 生活と発達の連続性	34	32	4	0	
	3 養護と教育の一体的展開	37	35	7	0	
	4 環境を通して行う保育	56	68	3	0	
III 保護者に対する 支援	1 家庭との連携	60	54	11	0	
	2 地域における子育て支援	31	38	8	0	
IV 保育を支える 組織的基盤	1 健康及び安全の実施体制	89	57	8	0	
IV 保育を支える 組織的基盤	2 資質向上	17	32	3	0	
	3 社会的責任	28	21	3	0	

くるみ保育園 保育士の自己評価 令和4年度

令和5年4月

子どもの発達援助 ア 養護

(2) ア-2 子どもが安心して自分をゆだねられるような配慮

- ・受けとめる (8)
- ・個々への適した対応 (5)
- ・共感する (4)
- ・子どもと関わる (4)

子どもの発達援助 イ 健康

(2) イ-9 休息時、眠らない時、早く目覚めた時の配慮

- ・横になって休息 (10)
- ・落ちすかせる (6)
- ・抱っこする (5)

子どもの発達援助 ウ 食事

(2) ウ-4 子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫しているか。具体例

- ・楽しく食べる (9)
- ・声をかける (6)
- ・必要に応じて援助 (3)
- ・苦手な物を減らす (2)

子どもの発達援助 ウ 食事

(2) ウ-10 食事に対して、意欲の少ない子への配慮

- ・工夫する (6)
- ・雰囲気づくりをする (6)
- ・褒める (2)
- ・関心を持たせる (2)
- ・声掛けをする (2)

子どもの発達援助 エ 人間関係

(2) エ-8 子ども同士がつながりを深めるための配慮

- ・遊びの仲介 (7)
- ・子どもと一緒に遊ぶ (5)
- ・言葉かけする (4)
- ・必要に応じて援助 (1)

(2) エ-9 子どもが力を合わせて何かをやりとげる機会を作っていますか。

- ・行事 (10)
- ・普段の遊びの中で (5)

子どもの発達援助 オ 環境

(2)オ-2 遊びのスペシャリストになっっていますか★どのように努力をしていますか

- ・一緒に遊ぶ (14)
- ・新しい物を取り入れる (4)
- ・保育雑誌を見る (1)

(2)オ-9 子ども発達に適した玩具や遊具を用意し、好きな遊びが出来るように工夫している点は

- ・遊びの提案 (7)
- ・年齢に適したおもちゃ (6)
- ・行事遊び (1)
- ・出来ていない (2)

子どもの発達援助 キ 表現

(2)キ-9 ごっこ遊びを発展させるのにどの様なことをしていますか

- ・関わりの中で広げる (10)
- ・子どもバザーの開催 (1)
- ・道具を使う (1)

子どもの発達援助 ケ 長時間保育、延長保育

(2)ケ-5 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されていますか、どんな遊びを工夫していますか

- ・一緒に遊ぶ (4)
- ・早朝、残留保育で関わる (3)
- ・仲介する (2)
- ・様々な遊びをする (2)

(2)ケ-7 子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っていますか

- ・メモと口頭 (19)
- ・報告ミーティング (4)
- ・ホワイトボードの活用 (2)

保護者に対する支援 ア 子どもの成長の喜びを共有

(3)アー5.6 保護者が積極的に行事に参加するように働きかけ、子どもの成長や子育ての喜びが共有できるように配慮していますか

- ・日々の様子を伝える (15)
- ・懇談会で伝える (2)
- ・写真や面談を通して伝える (4)
- ・口頭や手紙で伝える (11)

保育を支える組織的基盤 ウ 職員の資質向上

(4) ウ-6 あなたの考える最善の利益とはどのようなことですか

- ・自分（子ども）らしく過ごす（5）
- ・安心してすごせる（5）
- ・大人から愛される（3）
- ・自ら考えて行動する（2）